



15inch 4Way Studio Monitor

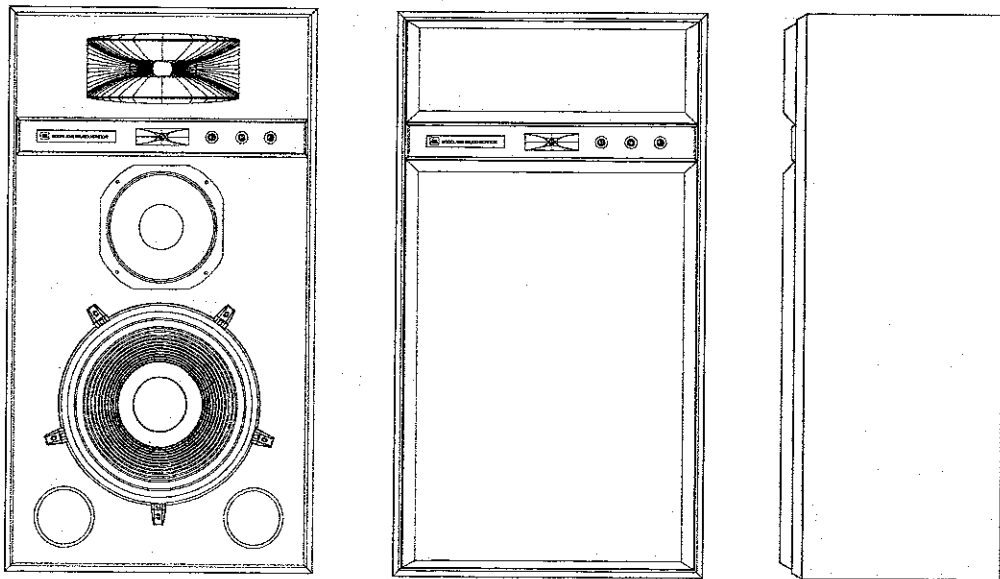
Model 4348

取り扱い説明書

MODEL4348 は、世界中のスタジオや放送局でモニタースピーカーのリファレンスとして活躍している 15 インチ 4 ウェイシステム、JBL4300 シリーズのニューナンバーです。

“Project K2 S9800”の開発で培った先進テクノロジーの投入と、鮮やかな音像定位を実現するインライン・ユニットレイアウト、音響レンズを不要とし、より正確な音場を構築する新世代バイラジアルホーン、そしてこれらの技術を可能にするスリムに進化したキャビネットなど、伝統と革新性の融合がおりなす独創的なシステム・エンジニアリングを注ぎ込んでいます。

ハイビット・ハイサンプリングを誇るデジタルソースのモニタリングをフルスペックで可能にする、新世代のモニタースピーカーです。



harman international
ハーマンインターナショナル 株式会社

1: はじめに

この度はJBL 4Way Studio Monitor 4348をご購入頂きまして誠にありがとうございます。
本製品をより良く理解していただき正しくお使いいただくために、ご使用前にこの説明書を最後までお読みください。

2: 開梱にあたって

外観、機能共に完全な状態でお届けされたことと存じますが、万一損傷や故障がみとめられた場合は直ちにお買い上げ店にご連絡ください。

カートンボックス側面に保証書が添付されていますので内容をご確認の上、大切に保管してください。
オリジナル・カートンボックスは、緩衝材なども含め開梱後もそのままお手元に保管することをお勧めします。修理などのため本体を輸送されるような場合、オリジナル・カートンボックス以外のもので行った不完全な梱包により損傷が生じても、責任を負いかねますのでご注意ください。

3: 保障について

保証書は製品に添付された保証書の規定に基づいて行われますので、保証書をよくご覧ください。
誤った使用に起因した故障などに伴うアフターサービスは、保障期間の有無にかかわらず有償となります。
また、送料はお客様負担となりますのでご了承ください。

4: 設置について

当機は、発熱量の多いパワーアンプやストーブの近く、湿気やホコリの多い場所、直射日光のあたるところなどを避け、堅いしっかりした床の上に設置してください。

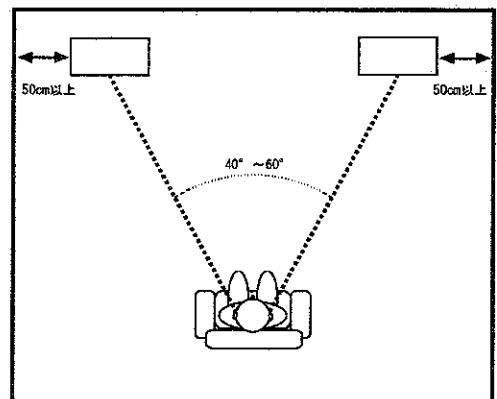
●セッティング

明瞭な仮想センター・イメージを持つ録音ソースを使ってセットアップを開始してください。左右のスピーカーから同距離の中央にポジションを取った時、明確なセンター・イメージが得られるようリスニング・ポジションとスピーカーとの距離、および左右のスピーカーの間隔を調整してください。

当機は、左右のスピーカーとリスナーをつなぐ直線の内角が40度~60度の場合、最も正確なステレオ・サウンド・ステージが再生できるよう設計されています。また、左右の壁からは、約50cm以上の距離を確保することが理想です。

本機の音像定位の中心は、UHF（ウルトラ・ハイ・フリクエエンシー）ユニット付近にあります。UHFユニットの位置が耳の高さに揃うようスピーカーを設置してください。また、床面との音響的干渉を避けるために、スピーカー底面に5cm~20cm程度の高さの丈夫な台（キューブやブロック状のもの）を敷くことをお勧めします。

標準的なセッティング例



5: 接続について

※注意

スピーカーをアンプに接続する場合は、必ず電源を切ってから作業を行ってください。電源を入れたまま接続を行うとアンプやスピーカーを破損する恐れがあります。

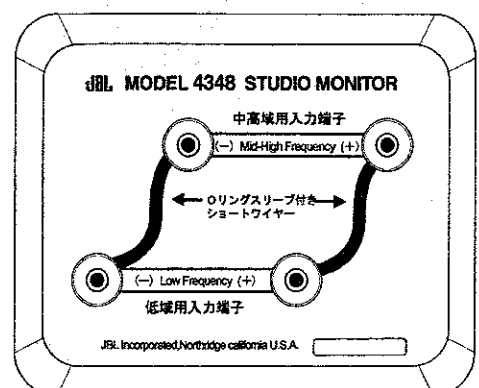
4348の2組の入力端子は、バイワイヤリング接続、バイアンプ駆動に対応します。以下の説明に従いそれぞれに合った接続方法を行ってください。

I. 1組のスピーカーケーブルによるシングルワイヤー接続

付属の金メッキオリング・スリーブ付きショート・ワイヤーを取り付けたまま、上下どちらかの端子に接続します。

II. 2組のスピーカーケーブルを使用したバイワイヤー接続

付属の金メッキオリング・スリーブ付きショート・ワイヤーを取り外し、高域用/低域用ケーブルをそれぞれの端子に接続します。

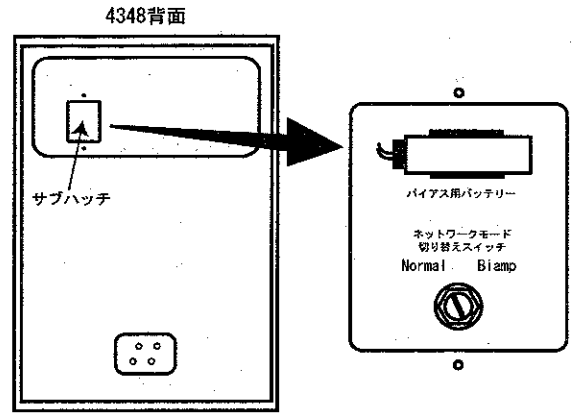


Ⅲ. 内蔵ネットワークを使用し2組のパワーアンプを用いたバイアンプ駆動

付属の金メッキリング・スリーブ付きショート・ワイヤーを取り外し、高域用／低域用アンプをそれぞれの端子に接続します。ご使用になる2組のパワーアンプは同一である必要はありませんが、出力性能が近いものでゲイン（アンプの増幅率、利得）が同じもの、またはあらかじめ入力調整により同一ゲインに設定したものをご使用ください。

Ⅳ. 市販のチャンネルデバイダーと2組のパワーアンプを用いたバイアンプ駆動

プラスドライバーを使用して背面上部のサブハッチの固定ネジを抜き取り、ハッチを取り外します。ハッチの中のモード切り替えスイッチを、マイナスインプを使用しバイアンプ（Biamp）ポジションに切り替えた後、ハッチを元に戻してください。付属の金メッキリング・スリーブ付きショート・ワイヤーを取り外し、高域用／低域用アンプをそれぞれの端子に接続します。高低域用レベルコントロールがあるチャンネルデバイダーをご使用になる場合、組み合わせるアンプのゲインは同一である必要はありません。



※注意

チャンネルデバイダーを用いてバイアンプ駆動方式を行うとき以外は、モード切り替えスイッチを必ず Normal ポジションにしてご使用ください。

当機の入力端子は、赤いリングの取り付けられた端子が+、黒いリングが取り付けられた端子が-です。極性を間違えないよう確実に接続してください。+端子に+の信号が加わった際、ウーファーが前方へ動作するように設計されています（正相動作）。

金メッキリング・スリーブ付きショート・ワイヤーを使用する際は、スリーブと導線がそれぞれ確実に端子に締め付けられていることをご確認ください。また、ケーブルの導線が他のスリーブに触れてショートしないよう、十分ご注意ください。

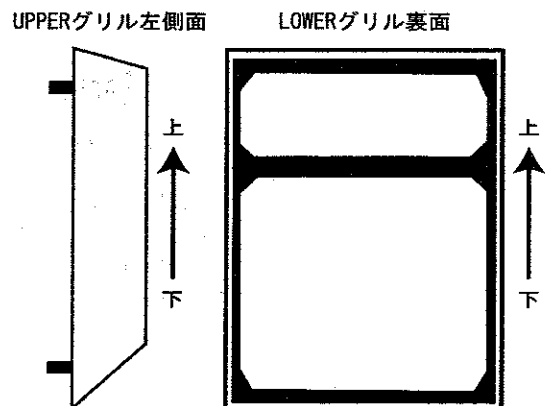
安全、確実に接続するため、ケーブル端末にはY型端子またはバナナプラグの使用をお勧めします。

6:アッテネーターの調整

当機にはウーファーに対する、MF（中域）、HF（高域）、UHF（超高域）の各レベルをユニット毎に調整できる独立・連続可変型のアッテネーターを採用しています。各ボリュームつまみの 0dB のポジションは、響きの少ない実験室におけるフラットレベルのポジションを示します。実際にご使用になる部屋の響きや好みに合わせて、アッテネーターを調整してください。一般にスピーカーは、使用開始後1~2ヶ月の間にユニットの振動系がこなれ、レベル、音質が安定してきます。この間、使用時間の経過とともにレベルバランスが変化しますので、レベルの変化に伴い再度調整することをお勧めします。

7:グリルの取り付け

当機は出荷時にグリルが装着されております。グリルの目的はユニット等の保護です。必要によって取り外し、取り付けをおこなってください。当機のグリルは UPPER 部, LOWER 部のセパレート構造になっております。また、UPPER 部, LOWER 部共に上下がありますので、右図を参考にして、取り付けをおこなってください。



8 : 保守

- お手入れの際には、乾いた布でキャビネット表面を掃くようにしてホコリを取り除いてください。湿った布やクリーニング・ペーパーなどを使用するとキャビネット表面のツヤが落ちることがあります。ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の液体で拭いたり、近くで殺虫剤を散布したりしないでください。
- グリルネットにホコリなどが付着した場合は、電気掃除機を使用してホコリを吸い取ってください。その際、強く吸いすぎないように掃除機の強さを調整してください。また、グリルを水洗いしないでください。グリルに色むらやたるみが発生する場合があります。
- スピーカーのユニット表面にホコリが付いたときは、柔らかく乾いた筆や刷毛などを利用して丁寧にホコリを払ってください。濡れた雑巾などは絶対に使用しないでください。
- スピーカーシステムは耐久消費財です。特にコーン紙のはげしい動きを支えるウーファアのエッジ部には多くのストレスがかかるため、その実用対応年数には限りがあります。また、温度、湿度、紫外線などの影響で寿命を縮める恐れがありますので、照明器具の強い光や直射日光を避け、エアコンの吹き出し口やストーブなどの近くを避けてご使用ください。

<バイアスバッテリーについて>

当機は、ネットワーク回路内コンデンサーに常時直流バイアスを加えておくことで素子を活性化させ、ゼロクロス歪を取り除く JBL 独自のチャージカップル方式を採用しております。このバッテリーの寿命は約 2 年です。バッテリーの電圧が低下してもネットワークとしての機能に支障はありませんが、優れた音質を維持するために定期的に交換されることをお勧めします。

C

その際、必ず同規格のバッテリー (9V 角型 006P タイプ乾電池) を、+ の極性をご確認いただいた上で正しくセットしてください。

出荷時にセットされているバッテリーは機能テスト用です。早めに交換されることをお勧めします。

9 : 規格

形式	4 ウェイフロア型
使用ユニット	38cm 径ピュアパルプコーン・ウーファー <1500FE> 25cm 径ファイバーコンボジットコーン・ミッドバス<2251J-1> 75mm 径アルミ・コンプレッションドライバー<435A1> 25mm 径ピュアチタン・コンプレッションドライバー<045Ti>
インピーダンス	6Ω
許容入力	400W (RMS)
出力音圧レベル	95dB (2.83V/1m)
周波数特性	33Hz~40kHz (-6dB)
クロスオーバー周波数	300Hz, 1kHz, 10kHz
寸法 (幅×高さ×奥行き)	597×1080×400mm (グリル装着時奥行き 425mm)
重量	90.7kg

harman international

ハーマンインターナショナル 株式会社

商品に関するお問い合わせは、弊社企画部 ☎ 03 (3836) 5660 まで

東京サービスセンター	〒135-0033 東京都江東区深川 1-6-29	結城運輸倉庫(株)内	☎ 03 (5639) 3011
本社営業部	〒110-0005 東京都台東区上野 5-7-7	公德堂ビル	☎ 03 (3836) 5641
大阪営業部	〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-12-15	双葉ビル 602 号	☎ 06 (6301) 1396
福岡営業部	〒816-0844 福岡県春日市大字上白水 418-4	第 2 金信コーポ 1F	☎ 092 (573) 2023

企画部 2K2 09 02